



議会だより

2020.2
Vol. 65

ふじかわぐちこ



“昔ながらの斧で切り倒す神事”
河回御神木切り出し

●こういうことを決めました……2P

●委員会レポート……4P

●一般質問……12P

●窓・議会見聞録・編集後記……16P

芝生化新設事業決定!!

令和元年 第4回定例会

令和元年第4回富士河口湖町議会定例会は12月10日に開会し会期を8日間と決めて12月17日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案及び審議結果は、次のとおりです。

指定管理2件、条例の一部改正6件、補正予算11件、同意案件7件を審議し、すべて原案のとおり全会一致で可決、承認されました。

なお、補正予算案の一部は総務常任委員会、文教社会常任委員会、産経土木常任委員会において各委員会が所管する部分ごとに審議され本会議に報告されたほか、各常任委員会が所管する事務について質疑が行われました。

また、4人の議員から一般質問がありました。詳細は、12～15ページをご覧ください。

町有施設の指定管理者の指定…(2件)

管理を行わせる 公の施設の名称	富士ヶ嶺バイオセンター	町民福祉館ふじやま
		
指定管理者として 指定する団体	鷹取建材株式会社 東京都八王子市中野町2545番地21	富士河口湖町社会福祉協議会 富士河口湖町小立2487番地
指定の期間	令和2年4月 1日から 令和5年3月31日まで	令和2年4月 1日から 令和5年3月31日まで

条例の一部改正…(6件)

- 1 富士河口湖町表彰条例の一部を改正する条例の制定
(特別待遇の停止の見直しを行う必要があるため改正)
- 2 富士河口湖町職員給与条例の一部を改正する条例の制定
(国及び県の給与に関する勧告等に伴う関係条例の改正)
- 3 富士河口湖町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
(国及び県の給与に関する勧告等に伴う関係条例の改正)
- 4 富士河口湖町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定
(消防団員の欠格事項を見直すための改正)
- 5 富士河口湖町印鑑条例の一部を改正する条例の制定
(総務省事務処理要領改正に伴う改正)
- 6 富士河口湖町下水道条例の一部を改正する条例の制定
(指定工事業者の欠格条項等を見直すための改正)

くぬぎ平スポーツ公園運動場の人工

補正予算…(11件)

◆令和元年度富士河口湖町一般会計補正予算(第4号)及び(第5号)

債務負担行為

*債務負担行為:将来にわたる債務(経費)を負担する行為を予算として定めておくもの

事 項	期 間	限 度 額
くぬぎ平スポーツ公園 運動場人工芝生化新設事業	令和2年度	7億5,000万円

補正増額

4億6,385万円(総額141億778万円)

主な財源

国県支出金 9,909万円
繰越金 3億7,031万円

主な使いみち

公共施設建設基金積立金 1億円
介護給付、訓練等給付費 5,000万円
認定こども園委託料 8,000万円
子ども医療費助成金 3,080万円
除雪作業委託料 3,800万円



くぬぎ平スポーツ公園運動場人工芝生化予定地

◆その他、特別会計補正予算(9件)

同意案件…(7件)

任期満了等に伴い7件の同意案件が提出され、審議した結果全て同意されました。

1 富士河口湖町教育委員会委員

かじはら 棍原 作造

2 富士河口湖町公平委員会委員

わたなべ 渡邊 渡 三木 ひろし

3 富士河口湖町固定資産評価審査委員会委員

わたなべ 渡邊 あき お 顯夫

4 大石財産区管理委員

とがわ 外川 あや ひ ろ 斐比呂

5 勝山財産区管理委員

くらさわ 倉澤 よういち 小佐野 量 小佐野 史享

さす が 流石 ひさよし 倉澤 勝重 倉澤 つるよし 鶴義

6 西湖財産区管理委員

わたなべ 渡邊 けんぞう 賢三

7 富士河口湖町河口湖治水委員会委員

い で 井出 亮 渡邊 昇 半田 幸久

ほりうち 堀内 なが と 長富 大庭 茂 倉澤 ひ で お 日出男

み う ら 三浦 かずまさ 三浦 よしゆき 由行

委員会レポート

総務
常任委員会

総務
常任委員会の
審議状況を
報告します。



ドローンの活用は

Q 火災、自然災害時にドローンの活用が必要不可欠になる。各地区消防団への配備は必要になると思うが、その対策は。

A 地域防災課長 ドローンの購入に当たり、1台30〜40万円の費用が必要である。その為、地域防災課が管理しているドローンを各地区の消防団と相談しながら有効活用していく。

また操縦資格については、山梨県が消防協会でドローンの講習会等を行っている。

今後、各地区の消防団から要望があれば講習の手配、ドローンの貸し出し等を検討していく予定である。

Q 平常時ドローンの活用方法について各種イベント等にドローンを使い、町のPRに、またその状況を町のホームページに乗せる予定があるか。

A 地域防災課長 大勢の人が集まる時は、安全第一を確認しながら、積極

的な活用を考えていく。



町で購入したドローン

オフロードバイク購入は

Q 自然災害の即戦力になるオフロードバイクの購入は。

A 地域防災課長 災害時の行方不明者の搜索、富士山噴火等による広域避難訓練のため平常時の利用を含め今後検討していく。

新町建設計画の進捗状況は

Q 合併特例債の起債根拠となる新町建設計画の進捗状況は。

A 政策企画課長 4月現在の進捗状況を各担当課より調査・報告を受けている。135事業について達成度を5段階で評価したものは、100%達成が68項目

(全体の約50%)。半分以上達成、継続している事業を含めると約90%の進捗状況である。

また、全体の5%は着手が困難であり、具体的には南岸地区の給食センター及び富士ヶ嶺地区の富士山牧場である。今後は、町の第2次総合計画に委ね、まちづくりを推進していく。

今後ふるさと納税の対策
及び進捗状況は

Q 新聞報道でふるさと納税の行き過ぎた返礼品が問題になっている。今後対応が難しくなったが。

A 政策企画課長 本年度ふるさと納税の申込金額は、約8500万円。昨年同時期と比較すると60%。その主な原因は、総務省による6月の法改正による地場産品の規定が厳しくなり県内のフルーツやワイン、甲州印伝等が一部取り扱えなくなった。

Q 今後のふるさと納税の対応は？

A 政策企画課長 観光立町の利点を活かした旅行クーポン。町内で体験できる商品開発等。さらに富士ヶ嶺地区の牛乳、チーズ等地場産品メニューの発掘を考えていく。

委員会レポート

文教社会
常任委員会

文教社会
常任委員会の
審議状況を
報告します。



六角堂の修理は

Q 台風19号で被害が出たようだが、現状、どのように対応しているか。

A 生涯学習課長 正面入り口の扉が、2枚あるところのうち1枚が壊れて外れていた。また、屋根につるしてある明かりが一つと、回り廊下の一部分が欠落していたので、補正予算を上げて、今年度中に修理をするようにした。

通学路交通安全プログラム

Q 交通安全指導等はどのように行っているか。

A 学校教育課長 危険箇所は学校を通して児童生徒に伝え、また安全教室等を開いている。低学年は、地域防災課交通安全指導員が学校等々に行き、安全指導を行っている。地域においては、保育園のほうにも出向いて交通安全指導を行っている。

Q マニュアルのようなものはあるのか。

A 学校教育課長 特にマニュアル等は作成していないが、重点項目については、気がついたところで毎月行っている。校長会等々でも、教育委員会のほうから伝えており、口頭ではあるが児童に伝わるようになってきている。

小立保育所の駐車場

Q 職員の車との接触事故等が起きているという話だが、何件くらいあるか。

A 子育て支援課長 所長から接触事故のことは聞いていたが、具体的に何件ということはまだ聞いていない。

Q 小立保育所は、136世帯に対して駐車スペースが現状25台程度で、必要台数の約5分の1程度しかない。駐車場利用について、保護者に対しての安全指導等はどのように行っているか。

A 子育て支援課長 年度初めの保護者説明会で、所長から説明している。

通学路そばにある枕木問題

Q 湖南中近くの民間会社の枕木が、木材防腐剤（クレオソート油）によるにおいを発している。これには、発がん性物質が含まれている。測定の結果、基準値以下だったが、できるだけ使用しない方が

良い。町で対応しているが、解決に向かっていない。近くに学校もあり、通学路のそばであり、近隣に住宅もあるので、最低でも枕木の量を減らし、シートできちんと覆うことを求めているべきだ。

A 環境課長 数年前からこの問題を取り上げられている。町は以前からも臭気の測定等を行っているが、基準値内なので、強制力はない。シートをかぶせるようにとお願いをしている。

遅れている船津小建て替え

Q 工事監理者である2社の設計業者はもっと早く手を打つべきだったのでは。

A 学校教育課長 変更工程を出せと5月に指示をしている。

Q 県の力を借りるなど、第三者チェックの必要性があるのでは。

A 学校教育課長 追加の工事監理者を置いた場合、今度はどこに責任が出てくるのか。2番目の工事監理者、3番目の工事監理者と、どんどん工事監理者の責任が出てくる。県の力を借りることは現在考えていない。



太陽光発電

Q 過去3年の補助金申請件数と交付額の総額は。

A 環境課長 ここ3年の実績値は、平成28年度、申請数56件で補助金の交付額746万6000円、平成29年度、33件で326万3000円、平成30年度、28件で250万円である。

Q 来年度はどのくらいの予算計上か。

A 環境課長 今年度同様、300万円を考えている。

教育センター

Q 教育センターの主な仕事は。

A 教育センター長 大きく分けて、教職員の研修と、子供たちへの相談や教育支援である。

Q 現在、勉強とか学習創作活動、体験活動等をしている生徒さんの数は。

A 教育センター長 定期的に来ている生徒は5名、登録のみで、実際に来ていない生徒が2名。

Q センターで指導を受け、その後、通常の学校生活に戻るには、どのくらいの期間がかかるのか。

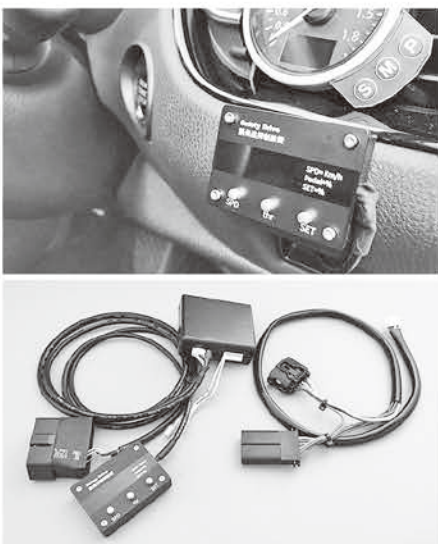
A 教育センター長 その子たちが抱えている問題により、一概には言えない。本センターは、平成17年から開設しており、今までの通ってきた生徒の中には、

児童相談所の職員になった人もいるし、母親になって赤ちゃんを連れてきてくれた人もいる。成長した彼らを見てみると、その人によっていろいろ違うと思う。なるべく早く学校復帰できるように、これまで同様に支援していきたい。

高齢者安全運転支援装置

Q 高齢者の安全運転支援装置は来年度予算化するのか。

A 福祉推進課長 装置を設置した方に対して補助を考えている。ただ、現在国のほうで同じような支援を行うような動向があり、それらをよく見きわめながら、考えていきたい。



誤発信抑制装置

マイナンバーカード

Q 当町におけるマイナンバーカードの取得状況は。

A 住民課長 平成31年4月1日現在で、2685名に交付。対人口比の普及率は10.5%、全国平均は13%。しかし、今年度は増え始め、11月30日現在で、発行総数3052名、4月から367名に交付している。昨年発行数が319名なので、去年を大きく上回る予想。理由は、国がマイナンバーカードの保険証としての利用を予定していることなどが考えられる。

プレミアム商品券

Q 今年度は利用者が少ないと思われるが、その背景は。

A 福祉推進課長 対象者が住民税の非課税者、また子育て世帯主。実績は、非課税者が5877冊、1176人で、子育て世帯は、1958冊、392人。対象者中34.1%が購入したが、利用者は少なめ。その背景には、消費活動が少ない人対象であること、給付額が4000円購入で1000円が給付をされるだけでメリットが比較的小さいこと等が挙げられる。また、1冊4000円のものがないか買えないというような声もある。



八木崎公園でのスカイランタン

八木崎公園関連事業

Q ふじさんアジサイの栽培・販売による、地域振興、農業振興への対応は。

A 農林課長 現在はまだ試作品の段階であるが、県の試験場や農務部の指導いただき商品化をしていきたい。

Q 夏のイベントでのランタン上げ、今後の予定は。

A 観光課長 LEDランタンの件だが、同規模又はそれ以上を計画していきたい。

委員会レポート

産経土木 常任委員会

産経土木
常任委員会の
審議状況を
報告します。



くぬぎ平のスポーツ広場

Q 現地での説明において問われた、浸透を含む排水の周辺への対応は。

A 都市整備課長 地下浸透を採用せず、全てを側溝から雪解沢のほうに排水する予定。あの広さに対する雨水でするので雪解沢への排水の量も多くなる。引き続き雪解沢へ配慮し計画する。

鳥獣に関する事項

Q 全国で熊の捕獲が相次いでいるが、町の対策は。

A 農林課長 町の鳥獣被害防止計画の中で、ツキノワグマが有害鳥獣に指定されている。捕獲し遠くの山奥へ放すのが基本だ。生命に危険を及ぼす場合はその場で処分する。今年2頭許可をとり処分した。

Q 猟友会との連絡網による熊の追跡調査は。

A 農林課長 熊の目撃情報があると、地区の猟友会とパトロールし、防災無線で注意を促し警察に通報する。追跡調査は行っていない。



国道沿いの投棄

Q 国道沿いペットボトルや空き缶などの投棄の対策は。

A 都市整備課長 現状を把握し、国交省に清掃を依頼する。

法定外目的税である宿泊税

Q 山梨県で検討を始めることになった宿泊税についての考えは。

A 町長 県より各地区の観光協会に説明が有ったようだが、町としては推進していない。

山梨県内の宿泊数の45%ぐらいは富士河口湖町で占めているので、県のこれからの議論は構わないが、慎重な上になおかつ慎重を重ねて地元との協議を重ねた上で県には判断をして頂きたい。

Q 宿泊税の検討をする際、多くの宿泊地は富士・北麓エリアであり、この地域にしっかり使われるよう求める。

A 町長 宿泊料金の線引き、宿泊税額の設定、宿泊税の地元への使い道を慎重に検討して頂きたい。



トレーラーハウス

Q 宿泊施設増加の中、トレーラーハウスの状況は。

A 町長 トレーラーハウスが、建築物でないとなれば確認申請は不要である。また、固定資産税も発生しない状況である。南岸地区においてトレーラーハウスが設置されていく状況だが、町の独自の条例をもってというわけにはいかない。根底に憲法が認めた私有物件の主張がある。国が何らかの手を早めに打つ事を、末端の市町村は願っている。

レンタルサイクル状況

Q 町内でのレンタルサイクルの事故は。

A 観光課長 外国人の方が無灯で道路の側溝に落ちた事例が1件。もう1件は携帯を持ち脇見運転で転んだ事例がある。

Q レンタル業者は、自転車に対して保険に加入しているか。

A 観光課長 各レンタル業者は、保険に加入していると考えている。



猿の捕獲状況

Q 各地区での猿の捕獲状況は。

A 農林課長 浅川に囲いおりを仕掛けており、20頭以上捕獲している。天上山護国神社の付近・ホテルの裏側・賑わい広場の辺に囲いおりを設置しているが、1頭も捕獲できていない。今後、地域の住民のご協力をいただき、大石や河口に設置したい。

Q 長浜地区での捕獲状況は。

A 農林課長 10頭以上捕獲している。それに、捕獲には囲いおりが一番いいと考える。

松くい虫対策の予算

Q 年間の松くい虫対策の予算は。

A 農林課長 枯れた松の処分をする費用は150万円。20本程度を処分している。

Q 薬品散布での対策を考えているか。

A 農林課長 伐採処分を現在行っているが、予防的な農薬散布は現在行っていない。

紅葉まつり

Q 実績はどんな状況か。

A 観光課長 34万人来客があり、昨年とほぼ同数で外国人が多いのが全体的な傾向だ。関東エリアの台風等の影響もありバス団体旅行等は減っている。天候が良い時は県内を含め近隣東部から訪れている状況。

大石桑崎周辺の状況

Q 大石桑崎周辺は、観光の重要なスポット。50本程のもみじなどがあるが、今後の整備をどう考えているか。

A 都市整備課長 湖畔の木が大きくなり、景色に悪いということで、地元からその木の伐採の要望がある。町は県道から下のやぶの整備を含め県にお願いの文書を發送している。



もみじトンネル大石桑崎付近



くぬぎ平スポーツ公園

来年度、クレーの運動場3万1800㎡を人工芝化し、一般用サッカーコート3面、小学生用サッカーコート6面、少年野球4面のラインを引き、多目的に使用できる人工芝運動場とする計画です。また、観客席として運動場の南斜面にコンクリート造りの3列のスタンド席を設置することも計画中。これまで以上に合宿誘致や大会誘致が可能となり、「観光振興」並びに「スポーツ振興」につながっていくことが期待できます。



2019/11/12

総務常任委員会が
所管する町内の施設を
視察しました。



旧上九一色中学校

県有林地を学校用地として借地し、校舎、校庭、体育館などの施設整備を進め、昭和55年4月に旧上九一色村唯一の中学校として開校しましたが、平成23年4月に勝山中学校に統合することとなり廃校が決定しました。厳しい財政状況の折、民間活力の導入による当地の魅力の発信や費用対効果の向上を図っていく考えとの、説明を受けました。

旧精進小学校

旧精進小学校も平成23年4月に勝山小学校に統合することとなり廃校が決定しました。

これまで精進湖活性化協議会が中心となって平成28年に「利活用」に関するアイデアコンテストが行われました。町は、地域住民の総意に基づいた活用案がまとまれば、各種法令や地権者である山梨県との調整を行い、実現に向けた取組みを進める用意があるとのことでした。





船津小学校増改築工事現場

現在の建設状況は、大幅に遅れています。現場管理者から遅れの原因は着工時の遅れ、近隣住民からの騒音等の苦情対応。さらに、工事現場が狭いための作業効率の低下等々様々な要因があったと説明を受けました。

委員会レポート

文教社会常任委員会
委員長 佐藤 安子

2019/11/15

文教社会常任委員会が
所管する町内の施設を
視察しました。



河口小学校英語授業

河口小学校5年生の英語授業の様子を視察しました。

2020年度から新しい学習指導要領がスタートします。小学校5・6年生には英語教科が始まります。当町では2年前から移行期間として、担任と英語指導員さらにALTが連携した授業を開始しています。河口小学校5年生は楽しそうに授業を受けていました。

ワークピア河口湖

昨年4月に開所した障害者施設で、知的・発達・身体・精神の障害を対象とした就労移行支援と就労継続支援B型で20名が定員です。利用者は用意されたプログラムに沿って訓練や作業を行っていました。施設を運営する社会福祉法人美徳社の長野真弓理事長は、活動の中で自己肯定感を高めるためのプログラムも導入し、職場定着率UPを目指しているとお話をしていました。



小規模保育園おほしさま

フォレストモール店舗内で昨年4月から開所したウブントゥ保育園おほしさまを視察しました。0歳から2歳児までの未満児専門で定員19名の小規模保育園です。園児が日本地図の県名を言えたり、数字の引き算を学習している様子を見学しました。また、大沼園長からは園内で調理している給食は化学調味料や添加物の入っていないこだわりの食材を選び、無農薬玄米を使い、心も体もすこやかに成長する食事を提供しているとの説明もありました。



勝山大砂水源非常用発電機

あかつきグラウンド下に設置されている東下大砂水源の非常用発電機（発電容量 128.8kW）を視察しました。同規模のものがグラウンドの南側の大砂水源に今年度設置されます。

関連工事を含め今年度に完成しますと停電時に非常用発電機の作動により、両水源の井戸から水をくみ上げ、勝山改良区以南の世帯に断水することなく給水可能とのことでした。

委員会レポート

産経社会常任委員会
委員長 小佐野 快

2019/11/25

産経土木常任委員会が
所管する町内の施設を
視察しました。



県道富士河口湖・精進線拡幅工事現場

河口湖周遊道路扇崎トンネル付近とホテルサニーデ前の拡幅工事状況を車窓から視察しました。扇崎トンネル付近は河口湖の増水のために工事は行われていませんでした。

拡幅工事については4～5年程度かかる予定とのことでした。

河口湖自然生活館改築工事

河口湖自然生活館の一部増改築中の状況を視察しました。2階展望スペースが増設される予定で、多くの観光客集客施設が一新されます。

本体工事の完成時期は1月末日、温室工事は2月末、トイレ工事は3月19日の完成予定です。

地元住民を含め完成が待ち望まれています。



富士大石ハナテラス

河口湖自然生活館に隣接する観光施設です。湖畔のほとりの自然な景観を織りなし、緑や花いっぱいの敷地内には、山梨県産のスイーツやおみやげ、和の雑貨を取り扱う9つの店舗などが並び、ハーブ、河口湖、富士山を楽しめる施設でした。大石ハナテラス広報本部長の堀内さんから様々紹介をいただきました。

一般質問

知りたい!
聞きたい!



令和2年度予算について

Q

この度の町長選において、渡辺喜久男町長が無投票で再選を果たした。

これは、多くの町民が選挙戦を避け安定した行政運営を望んだことと、町長の1期目の実績を評価し、2期目の信任を得たものだと思う。

町長は今回、1期目の公約実現と、2期目の新たな公約として観光・防災・福祉・教育を4本柱に、さらなる前進をしていくと後援会活動を通して訴えてきた。町民と約束した4つの公約を、具体的にどのような施策をもって実行していくのか。

また、令和2年度の予算編成に対する、町長の基本姿勢と方針について伺う。



一般質問者
渡辺 武則

一般質問

A

町長 今回の町長選に掲げた公約の具体的施策だが、先ずは、観光施策として、当町の観光の中心である河口湖駅から大石の自然生活館までの間で、郊外用のWiFiが使えることを一番に取り組む。また、リニア開通に合わせて、山梨新環状線の石和までの開通と、新々御坂トンネルの早期着手を県に要望して行く。

防災対策では、消防団の団員確保と、その機能の強化。国の強靱化計画に基づく富士北麓の導流堤建設促進を要望していく。

福祉施策では、福祉行政堅持に加え高齢者ドライバーに、アクセル踏み間違え装置とドライブレコーダー設置の補助金を実施。

教育施策では、令和2年度より、小中学校の給食費の無料化を図って行く。

さらに、少子化対策として、新生児に2歳までの間、月3,000円の紙おむつ代を支給すべく考えている。

これらの施策に基づく予算編成の基本的な考えだが、一番は現在の財政状況の把握。起債残高、臨時財政対策債、合併特例債の残高、基金残高を精査した上で、前年度、過去最高だった町税を堅守すべく、観光をはじめとする地元企業と協力しながら、無駄な歳出を極力抑え、国や県の補助金・交付金に高くアンテナを張りながら、取り組んで行く。

西部エリアの集客について

Q

昨年のエリア別訪問客は、河口湖周辺が約210万人。西湖・精進・本栖は、半分以上の83万人。西部エリアの来訪者増加施策に対する考えを伺う。

A

政策企画課長 利用者的大幅な増加でブルーラインも増便された。外国人客を中心に町西部にさらに来訪者が増えるよう、魅力あるメニューや外国語表記などの創意工夫、スポーツ体験整備等して行く必要があると考える。

移住地払い下げについて

Q

西湖・根場地区の移住地払い下げ問題は、住民総意と、山梨県恩賜県有財産管理条例の2つの大きな壁を越えられない。今後の町の考えを伺う。

A

総務課長 県からの提示条件には厳しいものがある。町では、精進地区も同様に考えていきたい。地区委員会を再度確立した上での意思統一を望む。山梨県県有林課とは、定期的に連絡を取り、現状の報告等を行いながら協議を進めて行く。

他「プラスチックごみゼロ宣言」に向けて



一般質問者
渡辺 美雄

教育に関する インフラの整備を

Q 通学路の安全対策は急務であり、保護者の切なる願いであります。小立小学校から南側方面への安全な通学路の確保を。又、小立保育所に通う136世帯に対して25台程度の駐車スペースしか無く現状非常に狭い、この駐車場の拡張を。

A 学校教育課長・都市整備課 小立小学校の南側方面通学路については、来年度予算で歩道を意味するグリーンベルトを道路に表示し、注意喚起の安全対策を施す。

A 子育て支援課長 小立保育所の駐車場の拡張は、用地確保に向け、順次取り組んでいく。

長期滞在型観光の 一つとして、サイクリング ロードの整備を

Q 富士山に依存する観光からの脱却。長期滞在型観光・西麓観光の振興につながる一つとして、国・山梨県とも連携した、当町独自のサイクルコースの策定及び整備が必要と考えるが、町の取り組みを伺う。

A 都市整備課長 山梨県と連携を図りながら、自転車観光の環境整備に努めていく。サイクリングのPRについても、サイクルマップ・パンフレットの発行・ホームページによる広報活動に加え、PRツールの多言語対応等進めていく。

八木崎公園に ふじさんアジサイを

Q 八木崎公園内に現在あるラベンダーに加え、山梨県のオリジナル品種であるふじさんアジサイを植栽することで、もう一つの観光名所になる。また栽培し販売することで、地元の農業振興にもつながる。

A 環境課長 今年度、県からの協力のもと100株を公園内に植栽した。来年度も苗を購入し植栽していきたい。

Q 公園では来場者のさらなる増加が見込めるなか、駐車場の拡張も課題であります。用地（特に重要な場所）の確保には、地元の要望もあるが、今後の取り組みを伺う。

A 環境課長 土地所有者への用地の協力及び費用等が必要となるので、地元で調整して戴いた上で、検討していく。



庁舎前に展示してある ふじさんアジサイ

一般質問



台風や豪雨の迅速避難について



Q 台風19号は命を守るための大雨特別警報が県内に初めて出された。地元

河口地区の高齢の方や山際に住んでいる方に避難を呼びかけたが、その中で、愛犬がいるので様子を見ろという方がいた。家族の一員となつてゐる犬や猫のペット同行避難について、避難に迷う人がないように、この課題をどのように捉えているのか伺う。



A 地域防災課長 ペット避難に関するパンフレットを作成し、狂犬病予防

接種時に配布している。今回の台風では、一部の避難所でペットを同伴し、ペットはケージに入れ風除室に避難し、避難者自身は一般避難者と一緒過ごした。このたび



一般質問者
佐藤 安子

一般質問

の台風19号の状況も加味しながら、今後の対応に活かしたい。

女性特有のがん撲滅に向けて



Q 女性特有のがんは若年化が進み、20歳から40歳代で発症するケースが急

増している。つまり、女性ががんになりやすい年齢は、男性と違い、働き盛りや出産・子育て真最中の世代で、仕事や家庭の責任が重くのしかかり、マザーキラーと呼ばれる。女性特有のがん撲滅について、町として行っている啓発内容と子宮頸がんワクチン勧奨を伺う。



A 健康増進課長 各種女性特有のがん検診を実施し、年齢区分クーポン券

を個別発送、チラシ等の全戸配布、ホームページ、CATVによる啓発など、また、ピンクリボン月間は女性の健康づくりイベントを開催、成人者のつどいでは、子宮がん検診の勧奨パンフレットの配布等様々な実施。子宮頸がんワクチンは積極的勧奨や周知は実施していないが、母子手帳への予防接種項目としての掲載やホームページへワクチンの有効性と副反応の説明と合わせて掲載をしている。

ヘルプマークの普及を



Q 富士北麓圏域障害者自立支援協議会

において検討した共通のヘルプカードにはヘルプマークが大きく印刷されている。手助けが必要な方が携帯すること、目で見て、支援が必要な方だということがわかる。しかし、このマークの存在を知らない人が多く、それは何と言う方がいる。手助けをする側が理解していなければ支援の輪は広がらない。もっとヘルプマークの普及に力を入れるべきではないか。



A 福祉推進課長 多くの方が利用する

民間事業所や大規模店舗等にポスター掲示の願いをし、広報やCATVに繰り返し掲載するなど周知活動を継続し、多くの方に認識してもらえような対策を講じていきたい。

ヘルプカード

あなたの支援が必要です。



富士河口湖町



一般質問者
山下 利夫

防災無線屋内受信機の 配布対象を広げて

Q 昨年10月、当町にも接近した台風19号。町内6か所に避難所が開設されたが、その情報を知らせる防災無線を聞き取ることができなかったとの声があった。

デジタル化により、いままでの屋内受信機や防災ラジオは対応できなくなったことが大きい。デジタル化に対応した屋内受信機が聴覚障害者などに貸与されているが、対象を広げるべきだ。

A 地域防災課長 ケーブルテレビのデータ放送、メールやホームページ、新たに作成したスマートフォン向けの防災アプリにより、防災無線情報を発信している。

Q メールやアプリなどは重要なツールであるが、高齢者など、それらを使う環境がない方もいる。国も、屋内受信機の貸与を行う方針である。

A 地域防災課長 今後はまず、視覚障害者などに対象を広げていきたい。

富士山噴火広域避難の 方法見直しを県に要望を

Q 富士山噴火が発生し、全町民の避難が必要となった場合の避難先の自治体が山梨市、笛吹市、市川三郷町、富士川町に決まった。しかし、区や自治会ごとに各自治体の公民館や学校施設に避難することになっており、災害発生時には混乱が予想される。避難場所をわかりやすい場所にするよう県に要望を。

A 地域防災課長 各避難場所に避難する前の一時集結場所として、県の大規模施設（アイメッセ山梨など）の開放を要望している。

児童虐待対策の体制強化を

Q 富士河口湖町における児童虐待の相談件数は、平成26年の11件から年々増加し、平成30年は50件となっている。

これに対し、児童相談所を中心に、町、学校、民生児童委員、医療機関などが連携してきめ細やかな対応が行われている。町は、保健師4人、ソーシャルワーカーを中心とした職員体制となっており、体制強化が必要だ。

A 子育て支援課長 今後は、心理職の導入を考えている。人材不足などにより、職員としての配置は難しく、スーパربайザーとして臨床心理士の確保を検討していく。

中小企業・小規模企業 振興条例の制定を

Q 平成26年成立の小規模企業振興基本法にもとづき、県内ではすでに12の自治体が中小企業・小規模企業振興条例を制定している。富士河口湖町においても重要な役割を果たしている小規模事業者の役割を明確にし、当町の実情に応じた施策を計画的に進めていくために、当町でも制定を。

A 観光課長 中小企業・小規模事業者は、地域経済や雇用を支える極めて重要な存在。現在の中企業支援体制などをふまえ、関係機関と協議を重ね、条例整備を検討していく。

“言葉の大切さ”心の中で輝いて

忍者Fujiyama プロジェクト
染谷 つよし

「グッドモーニングニンニン！」
で始まるFMふじやま『Good Morningふじやま 金曜日』DJのニンニンこと染谷つよしです。その正体は「富士山の旅芸人・忍者Fujiyama」。町のイベントで時々目につく、忍者服の怪しいおじさんが私です。まさにブーム再来の『フーテンの寅さん』ばりの「さあさあお立合い！御用とお急ぎでなかったらゆーっくりと聞いておいで、見ておいで！」の口上で始まる、懐かしい大道芸を仕事にしています。見かけた足止めてみてくださーいね。」

富士河口湖町に家を建てて15年。生まれは埼玉県。私も富士山の魅力に取りつかれた移住者の一人なんです。特にたまらないのが晴れた日の夕景！

忙しく動き回る日暮れ時の人たちに「みんなこの景色に気づいてるといいなあ」という想いがあふれ出して胸が張り裂けそうになります。

そんな私、「ガマの油売り」



「南京玉すだれ」等の大道芸上演を中心に、お笑い忍者ショーやヴォイストレーニング教室などやってます。しかしながら物心ついた時から「吃音症」があり言葉がスムーズにしゃべれませんでした。なんて言ったら「お前はしゃべりが仕事じゃないか！人より余計にしゃべってるし！」なんて思われると思いますが、しゃべれなかったから「言葉」を仕事にしたんです。それでも「は？」と思われる方、無理ありません。伝えられてませんよ。ただ、しゃべれなかったから、言葉の温かさも、汚い言葉を発することの勿体なさも、伝えられない悔しさも痛みも、すべて、言葉の大切さとして、まるで宝物のように心の中で輝いているんです。

人生最長の時をすごしている大好きな富士河口湖町。誰にでもやさしい町であつたらいいなと、いつか私もその一助になれるたらうれしいです。

富士山には数十回登頂しました。プチ遭難の経験もあり、この雄大な富士の麓で、何とまあ落ち着きのない日々を送っていることが。

それでもどこかで会えた時には、きつと一緒に笑いましょーうね！

議会見・聞・録

生まれも育ちも小立、子どもの頃は春夏秋冬と一年を通じて遊び場だった整備される前の八木崎公園、その変貌を見つめてきた小立住人の一人として、八木崎公園に関する一般質問があるとのことを聞いたので今回、初めて議会を傍聴させていただきました。

2人の議員さんよりいくつかの質問があり、最後に「八木崎公園にふじさんアジサイを」の質問となり山梨県で育種した、オリジナルアジサイを新たに植栽していく。花の特徴は、

アカネ色に変化していき、また花の時期もラベンダーが終わった後ぐらいから咲き始め約2ヶ月以上楽しめる等の実に真摯なやり取りが有る独特な緊張感の中、ハーブフェスティバルと紅葉まつりとの間をつなぐ新たな観光資源になるのではないかとその思いを持ち、笑顔あふれる八木崎公園を想像しながら、傍聴を終わりました。

また、機会を作り議会を傍聴させて頂きたいと思います。

小立地区 匿名

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は3月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。



●議会広報常任委員会
委員長 渡辺 英之
副委員長 半田 幸久
委員 古屋 幹吉
委員 外川 満

三浦 康夫
佐藤 安子
山下 利夫
渡辺 美雄

今回の65号は、12月定例会で行われた、一般会計補正予算の審議の内容について記載するように努めました。また、今回から新しくしましたのは、常任委員会の視察に関するページです。各委員会1ページずつを割き、写真を交えてわかりやすく解説いたしました。

町民の皆さんが本当に知りたいことが議会で取り上げられているか、皆様からのご意見ご提案をお寄せください。

(半田 幸久)

編集後記

議会だより
ふじかわぐちこ 2020.2 vol.65

発行：富士河口湖町議会 編集：議会広報常任委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167

※今回、65号については、表紙の構成上、パンチ穴はあけていません。